
My love is crazy

憂唯

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

My love is crazy

【Nコード】

N1759Y

【作者名】

憂唯

【あらすじ】

恋、友情、自分との葛藤、そんないろんな気持ちを詩にしてみました。

拙い文ですが、読んでくれると嬉しいです。

自己消解（前書き）

初投稿です。

もう一人の自分を想像して書きました。

自己消解

私の好きな君

激しくて強がりな君

私の声で笑う君

君の好きな私

穏やかで弱虫な私

君の声で泣く私

そんな二人は愛し合って

支え合って

そして傷つけ合った

一つの空間に二つの世界

壊し合うしか

認め合えない

そんな二人は哀しくて

侘しくて

そして消えた

残った空虚な脱け殻

そこに小さな忘れ物

激しさと穏やかさ？

強がりと弱虫？

そんな脱け殻は学ばず

恨まず

そして動かなかった

しかし脱け殻は

強がりで弱虫で
激しくて穏やかで
負けたくなくて
守りたくて
それは愛になった

そんな愛は暖かくて
優しくて
人に向けられたとき
それは心となった

黙考解法（前書き）

独りで考えすぎるのはあまり良いものではないですね。
血とか出てきますが、罪とか、悲しみとかだと考えてくださるといいと思います。

黙考解法

もう支えらんない

もうダメだね

重くて支えらんないの

目と耳塞いで

おつきくなつた頭抱えて

遮断された思考

ぐるぐるまわすの

立つのは痛くて

手を伸ばすのは怖くて

貧弱な四肢

この場にしゃがむの

もう何にも見えない

もうダメだね

ここに居たいの

なにしてんだ

お前逃げてるのか

確固たる認識

ホントは持ってたんだろ

血を流したいなら

止まるまで流し続ける

そして立てよ

痛い？

知らないよ

ふらふらする？

そりゃ貧血だ

…いや

足が貧弱だからか？

ふらふらしても大丈夫

俺が支えるから

流れたその赤い血を

俺が飲み干すから

一緒に耐えてやるから

もう何も怖くない

もう平気だね

ここにいたいな

仕返し（前書き）

今回は少し恋愛モードになって書いてみました！

仕返し

ねえねえ

私の大好きな君

私の悩みを聞いてくれる？

君が優しく私に触れるたび

流れ込む体温と

私への愛

私はその愛を

どうしていいのかわからない

たくさん集めて

観賞しようか

形を変えて

玩具にしようか

それとも

大事にしまっておくべき？

よくわからない

1つ分かるのは

いつも貰ってばかり

少し申し訳ない

だから今日は私もお返しするね

背の高い君に合わせて
ちよつと背伸びして
その頬にチューして
私の愛を君にあげるね

そして

私と同じように悩んじゃってよ

言い訳（前書き）

自分を好きになれない女の子の恋のお話です

言い訳

私の心の闇の中から
また新しいワタシが生まれた

星と人形の妹は
まるで悪魔のよう

浮かんで来たかと思ったら
不意にまた沈んでゆき
心の奥底の方で
困る私をニタニタ笑う

私の気も知らないで
何が楽しくて人を傷つけるの？

さてこの子をどうしよう？
相思相愛

愛してやろうか
防衛本能
殺してやろうか

…ほら笑って
私はワタシを消すしかないんだ

本当は分かっている
星も人形も悪魔だって
私だということ

ねえお願い

君が嫌うワタシなんて殺して
そうして私に恋して

そんな訳ないじゃん（前書き）

今回は恋愛色多くしてみました
こんな可愛い恋してみたいです・・・

そんな訳ないじゃん

そんな訳ないじゃん

アンタに話しかけられてなんで嬉しい？

ただの男子なのに

たまに喋るだけで十分なのに

そんな訳ないじゃん

アンタに励まされてなんで頑張れる？

ただの知り合いなのに

会話するだけで十分なのに

そんな訳ないじゃん

アンタが悲しくてなんで私も悲しい？

ただの仲間なのに

相談しあうだけで十分なのに

そんな訳ないじゃん

アンタに優しくされてなんでドキドキする？

ただの友達なのに

一緒に笑うだけで十分なのに

そんな訳ないじゃん

アンタに話しかけられてなんで嬉しい？

ただの気になる人なのに

姿見るだけでいいのに

そんな訳ないじゃん

アンタに褒められてなんで嬉しい？

ただの好きな人なのに
声かけられるだけでいいのに

そんな訳ないじゃん

アンタと二人つきりでなんで恥ずかしい？

ただの彼氏なのに

一緒にいてもいいのに

やさしいということ（前書き）

お互いに大切だからこそすれ違うこともありますよね・・・
そんな感じを詩にしてみました

やさしいということ

もし願いが叶うなら
私の目を取ってよ
醜い笑顔
見たくないから

もし願いが叶うなら
私の耳を取ってよ
どろどろな陰口
聞きたくないから

もし願いが叶うなら
私の手を取ってよ
振り上げるばかり
傷つけたくないから

もし願いが叶うなら
私の口を取ってよ
ウソ吐いてばかり
もう傷つけたくないから・・・

誰を？
私を？
皆を？
貴方を・・・？

神様願いを叶えてよ
身体も

心も

全部要らない

自分を、貴方を守る為に
傷つけるものは
全て消して

もし願いが叶うなら
彼女の目を返せよ
一緒に思い出
刻みたいから

もし願いが叶うなら
彼女の耳を返せよ
何度も名前
呼びたいから

もし願いが叶うなら
彼女の手を返せよ
人の温もり
思い出させたいから

もし願いが叶うなら
彼女の口を返せよ
全ての愛で
塞ぎたいから・・・

全て君の為に祈る

神様願いを叶えろよ

身体も

心も

全部返せ

そして力をくれ

彼女を守る為に

田舎のカップルに捧ぐ（前書き）

もうすぐクリスマス!!

と、言うことでクリスマスのお話を書きました

田舎のカップルに捧ぐ

少しお洒落な靴で
冷えたプラットホームを鳴らす

反対のホームには
街へと向かうカップル達
輝いた目で見つめ合い
羨ましいなんて思わないわ

大好きなキミが待っていてくれるから

一人私が乗るのは
街とは逆向きの電車
闇夜の銀の輝きも
意外と悪くないよ

大好きなキミと見られるのなら

山を分け入ってゆく
どんどん減っていく客
遠い道のりだけど
意外と短かったよ

キミに会えるとドキドキしていたから

電車降りて
キミが笑って出迎える
クリスマスなんて子供ね

なんて思わないわ

大好きなキミと一緒に過ごせるなら

メリークリスマス

冬の寒い日に（前書き）

今回も恋愛ものです

弱冠甘すぎる気もありますが・・・どっぞ

冬の寒い日に

かさねて

こすりあわせて

息をふきかける

それでも冷たいわたしの手

寒い？

手が冷たいだけ

あなたがわたしの手をとる

そうしてそつと包み込む

あたたかいあなたの手が

どんどん冷たくなっていく

あなたの手も冷えちゃうよ

別にいい

いつもより近い二人の間

心地いい沈黙が流れてく

お互いに合わせられない目

流れ込むあなたの体温

少しドキドキしているでしょ

少しだけな

あなたの鼓動を感じる

わたしのも聞こえているのかな
訊いてみたいけど

やっぱりはずかしい

まだ冷たいな

あなたも冷たいよ

温度分け合うように

お互いに力つよめて

ちらりとあなたを見てみる

ポーカーフェイスが揺らいでる

好き？

ああ

わたしも

へそまがり（前書き）

タイトルの通り、へそ曲がりの話です

へそまがり

私は期待なんてしてません
どうせすぐなくなる夢
壊れる前に壊して

私は信じてなんかいません
どうせすぐなくなる心
いちいち構ってられない

私は浮かれてなんていません
どうせすぐなくなる時間
あとは虚しくなるだけ

私は好きになんかなってません
どうせすぐなくなる想い
すがりたくないから

私は認めたりしない
傷つきたくないから
また君は私に笑って

君の為なら傷つけられる？
なら君に近づく為に
私は傷つこうか？

ほらまた
君はそうやって私を笑って
その笑顔に私は惹かれて

恋の形（前書き）

自分の素直な気持ちをまとめる為に書きました
やはり間違っちゃいないと思います

恋の形

嫌い

そう嘘をついたら

二人幸せになれるかな？

相手を想ってさようなら？

相手を想って自分が変わる？

愛の二律背反

共に好意の権利

悩んで喚いて

苦しんで

全てを壊したいと

手を振り上げた

本当に痛いのは心

貴方の心も痛いのですか

私は貴方を分けない

好きは我儘

ただの気持ち

貴方は関係してこない

愛は困難

分け合う気持ち

二人揃わなくちゃ

やっぱり

貴方と一緒にがいい

ボロボロの心で願う

それを罪とは言わせない

最初から

答えは決まっていた

また心慰めて

それが私たちの恋の形

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1759y/>

My love is crazy

2012年1月12日19時48分発行